



## はたちの主張

※一部を抜粋して掲載しています

**飯田 千尋** さん 未来を知る最善の方法は、未来を創ること



**森 義浩** さん 「与えられる」側から「与える」側へ



**工藤 駿斗** さん 誰かを支えられる社会人に



現代社会はめまぐるしい早さで流行が移り変わり、Z世代と呼ばれる自分たちですら、せかさながら日常を送っているように感じます。しかし、これからの時代を作り上げて行くのはここにいる私たちです。絶えず変化する世の中から後れを取ることなく、常に社会に必要なとされ貢献出来る人間になれるよう精進していきたいです。

学び方や生き方を選ぶことは自分自身に託されています。今まで支えてくださった多くの方々や美浦村に感謝しつつ、二十歳の自覚を持って新しい時代を自分らしく進んでいきたいです。

ここにいる皆さんがそれぞれの場所で自分を強く持って未来を創っていると信じ、私も頑張っていきたいと思います。

勉強や、世の中のルール・常識、あるいは思いやりの気持ちをもって接するといったことは今まで私たちが教わってきた、言ってしまうと「与えられ」てきたことに当たると思います。近い将来、学校の先生になりたい人、結婚して子供を育てるとい人をはじめ、ここにいる全員が必ず「与える」立場になると思います。大人になるといことはそういうことだと私は考えます。

この式典が成人を迎える18歳のタイミングではなく、二十歳で迎えるこの瞬間であるといのは、私たちがこれからは「与える」側になるとい決意のタイミングではないかと思っています。二十歳を迎えたから勝手に大人になるといことではなく、「与える側になるんだ」とい覚悟を持った人が大人なのだと思います。

私たちは「二十歳」とい大きな人生の節目を迎えました。今日こうして式典を迎えられたのは、両親や家族、お世話になった先生方、多くの友人、数えきれないくらいたくさんの方々への支えによるものだと心から感謝しております。義務教育を終えて約五年が過ぎ、進学や就職など様々な道を歩まれているかと思ひます。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、外出の自粛などから思ったような生活を出来ずに苦労した人が多いかもしれません。改めて家族や友人、先生方などの大切さ、人との関わりの大切さを知ったことでしょうか。これからは私も誰かを支えられるような社会人になれるよう一歩一歩精進してまいります。かつて皆さんと共に学んできたことをこれからの人生に活かし、それぞれの夢や目標に向かって歩み、立派な社会人になります。

## 祝

## 令和5年 美浦村はたちのつどい

## 希望あふれる 「はたち」の門出

令和5年1月8日、中央公民館において、感染症対策を講じたうえで、令和5年美浦村はたちのつどいが行われ、今年二十歳を迎えた165名のうち、125名（男性59名、女性66名）が出席しました。新たな門出を祝福するように天候にも恵まれ、会場には希望に満ちた爽やかな笑顔が溢れていました。

式典では、中島村長が「体力と気力、柔軟で優れた思考、鋭敏な感覚、思い切りの良さ、冒険心と物事に挑戦する勇氣、いずれも若さの持つ魅力です。若者らしさを活かす、たくさん新しいこと、やりたいことに挑戦していただきたいと思ひます。皆さんの力は社会を変え、大きなエネルギーとなります。皆さんの柔軟なアイデアを生まれ育った郷土の発展に活かしていただくことが村民にとって何よりの喜びであり、二十歳の皆さんを激励しました。

二十歳の皆さんの新たな門出をお祝いするとともに、今後のご活躍を期待しています。

## 参加者代表謝辞

**安倍 舞笑** さん



20年前、私はここ美浦村で生まれました。自然に囲まれたこの土地でさまざまな発見や経験をしてここまで成長することができました。時に優しく、時に厳しく教指導してくれた両親や先生方には本当に感謝しています。最近では地域の人間関係が希薄になっていると聞きますが、生まれ育った美浦村は、通学時すれ違う人たちに挨拶をすると、笑顔で挨拶を返してくれる人ばかりです。つくづく温かい人たちに守られて育ってきたんだと感じ、そんな日々が今では懐かしく思い出されます。

私は現在、中学校の音楽の教員を目指して大学に通い、勉学に励んでおります。学校生活の中で、私達の成長を近くで見守ってくださった先生方のように、未来の子

も達の成長へのサポートができるような教員になりたいです。

さて、今もまだ猛威を振るうコロナウイルスの影響で、先の見えない不安な世の中を私達は生きています。不安定な世の中ではありますが、私達には故郷である美浦村で共に成長した仲間たちがいます。人生に行き詰ったときには美浦村に帰って来れば良いでしょう。この会場に集まった友人達が暖かく受け入れてくれるはず。人との関わりを大切に、自分も誰かの支えになるような社会人になれるように日々精進してまいります。どうかこれからも温かい目でご指導ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。※一部を抜粋して掲載しています